

読書のすすめ

土岐市図書館

☎1253

テーマ

ギリシア神話

ギリシア神話の神々の名前は、さまざまな小説やエンターテインメントでよく耳にするとします。一方で、具体的な内容はよくわからないという方も多いのではないでしょうか。神々がどのように誕生し、世界が創られていったのか、読んでみてください。



この本には、神の能力やエピソードなどが書かれています。例えば、ポセイドンは海の神ですが、父親は誰か、性格は？など意外と知らないこともたくさんあります。神様別に紹介されているので、分かりやすく、細かなエピソードも載っていて面白いです。



ギリシア神話を描いた絵画作品は数多くありますが、この本では神の誕生、悲劇的なラストの順に紹介され、描かれている場面の説明や、絵画の見どころも載っています。物語と絵画、両方を楽しんでください。



文章だと硬くて入り込めないうちにおススメなのがこの本です。神々の嫉妬、愛憎、駆け引きや、見栄張りなど、神の「人間らしい」ドラマを味わうことができます。全8巻です。まずは、1冊読んでみませんか。

是非シリーズ第1作「屍人荘の殺人」から追ってみて欲しいです。



是非シリーズ第1作「屍人荘の殺人」から追ってみて欲しいです。この「魔眼の匣の殺人」は映画化されていますが、読んでみるとその場にいるかのような雰囲気を感じられると思います。

「あと2日で四人死ぬ」ー閉ざされた「匣」の中で告げられた死の「予言」から、この物語は大きく動いていきます。予言と恐怖心に支配された匣の中で起きる出来事、謎を追う9人の姿は読者であるこちら側にも緊迫感を味わわせます。私は、この作品の話のテンポ感が好きで、分厚い本ではありますが、その厚さを忘れるほど、次へ次へと話を追い求めてしまいました。歳も性別もバラバラの登場人物9人ですが、彼らの性格、予言に対する心の動き方もそれぞれで、話に引き込まれていきます。最後の真相解明の時間では、起きた出来事だけでなく、人間の心理さえも利用した巧みな謎解きを見ることが出来ます。

寄稿者募集
おすすめの1冊
教えてください

私の一冊

今村 昌弘／著

魔眼の匣の殺人



とき読書っくらぶ
土岐津中学校3年生
藤岡ひなたさん

9月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

開館時間

▶火～金曜日
10:00～19:00

▶土・日曜日、祝日
10:00～17:00

お知らせ「図書館でクラシック音楽を」

名古屋の宗次ホールから演奏者をお招きし、パーカッションを中心とした気軽に楽しめるミニコンサートを開催します。

日時 9月26日(日)
子ども向け：13:30～ 一般向け：15:00～
※入替制・要事前申込

定員 各回30人 ※申込多数の場合は抽選
申込 8月31日(火)まで

お知らせ

蔵書点検のため9月28日(火)から10月1日(金)まで臨時休館します。9月14日(火)から9月26日(日)まで貸出期間が3週間となりますので、この機会にゆっくり読書をお楽しみください。